

安全運転アドバイス

交差点編

交差点は、車や人が複雑に交錯し、最も事故が起こりやすい場所です。そこで、交差点を安全に走行するためのポイントをまとめてみました。

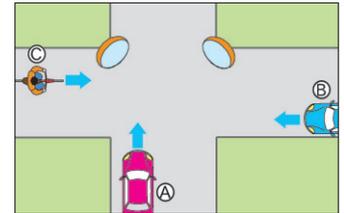
✚ 信号機のない交差点

見通しの悪い交差点では一時停止か徐行を

「止まれ」や「徐行」の標識がある交差点ではもちろんのこと、そうでない交差点でも、万が一に備えて一時停止か徐行をして、左右の安全確認をしましょう。

交差点のミラーに頼らない

ミラーでは相手との距離感がつかみにくいうえに、自転車や歩行者を見落としやすいので、ミラーだけに頼らず、必ず自分の目で直接左右の状況を確認しましょう。右図のA車から交差点の左右を見た場合、右側の乗用車(B車)のみに注意が向き、左側の自転車(C車)を見落としやすいので、注意してください。



対向車の通過直後が危ない

対向車の通過直後に右側から、歩行者や自転車が飛び出してくることがよくありますが、対向車の陰に隠れて発見が遅れやすいので注意してください。

住宅街の小さな交差点を見落とさない

住宅街には、小さな交差点やT字路がたくさんあります。路面の「+」や「T」の標示に注意し、見落とさないようにしましょう。

見通しのよい交差点でも油断は禁物

見通しのよい交差点でも、よく出合頭の事故が起こります。たとえ自分のほうが優先であっても「相手が止まらないかもしれない」と考えて、手前で減速し、相手の車の動きを確認することが大切です。



✚ 左折時：右折時

① 横断歩行者の間をすり抜けない

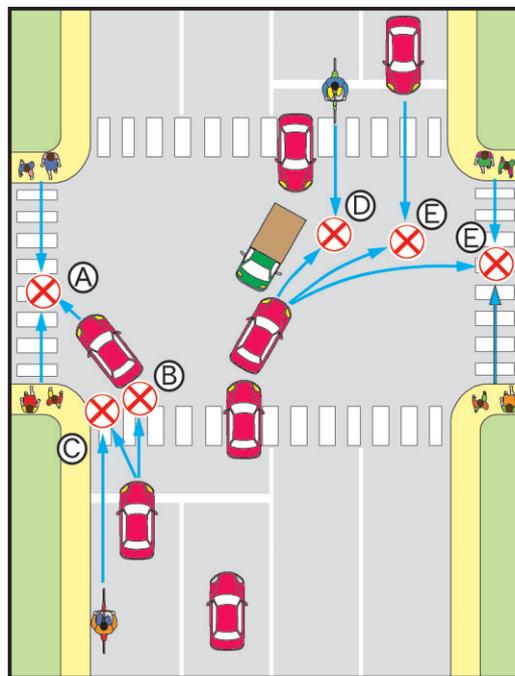
横断歩行者の切れ目をぬって強引に左折していくと、歩行者が突然走り出したときなどは大変危険です。横断歩行者がいるときは手前で停止し、通過を待ちましょう。

② 先行左折車の急停止に注意

先行左折車が横断歩行者のために急停車することがあります。左折時はいつでも止まれるくらいの速度に落とし、先行左折車の動きに注意しましょう。

③ 早目の合図と左後方の二輪車確認

左折の合図を早目に出し、後続車に左折の意図を確実に伝えるとともに、サイドミラーなどで、左後方から二輪車が接近していないかどうかを必ず確認してください。



④ 直進二輪車を見落とさない

二輪車は四輪車に比べて小さいため見落としがちです。特に対向右折車がいるときは、その陰に隠れて二輪車が見えにくいことがありますので、要注意です。

⑤ あせった右折は禁物

対向車が接近しているにもかかわらずあせって右折をすると、対向車と衝突したり、横断歩行者を見落とすおそれがあります。右折時は無理をせず、「待ち」の姿勢に徹しましょう。

道を譲られたときも対向車の陰に注意

対向車に道を譲られたとき、一気に右折すると対向車の陰から出てきた二輪車と衝突してしまいます。道を譲られたときも、対向車の陰の安全確認を忘れずにしましょう。

